

寿楽荘だより



発行：社会福祉法人 双葉会 介護老人福祉施設 寿楽荘
 編集：広報委員会
 〒198-0213
 東京都西多摩郡奥多摩町海澤497番地
 TEL 0428 - 83 - 2338 Fax 0428 - 83 - 3705
 E-mail: jyurakusou@futabakai.or.jp URL: http://www.futabakai.or.jp

長崎のペーロと沖縄の小り考 健康談義その十二

介護老人福祉施設寿楽荘

医学博士 佐藤守雄

さてこの小りやペーロの行事は、中国の楚の古俗の伝承といわれ、屈原マツげんの死にちなむものと説かれている。

屈原は紀元前4世紀の中国戦国時代の政治家にして詩人。彼の残した代表作「離騷」なる叙事詩は、漢詩の原型として高く評価されている。その人柄は博學にして弁才に富み、文筆詩作において他の追随を許さず、史実に明るく率いて祖國楚を良く、秦王の脅威から守り抜いていた。しかしながら人の才能を羨む卑しい輩は、何時の世も何処にでもいるもので、奸臣は王に讒言(ざんげん)をした。懐王は奸臣の陰謀を見破れず、屈原を疎(と)く(ん)じ、遂にこれを去らしめた。このため楚の国運は次第に傾く。今は野に在つて將に亡びんとする祖國を見るに忍ばず、屈原は自ら汨羅「ヘキヲ」(注：場所の名 湖南省)の深淵に身を投じてこの世を去る。その入水の日が旧暦5月5日端午節句であつた。屈原が入水した時、人々が彼を助けようと舟を出したが、舟足が遅く間に合わず、「せめて舟が飛竜のように速かつたら・・・」と嘆き悲しんで、その後「速い舟」を願つて競争を行う祭事を生んだ。この祭事は南中国を中心としてタイ、ベトナム、マライ、朝鮮、琉球にと広範囲に及んでいる。

因みに、5月5日にちまきを供える風習は広く伝わっているが、これは屈原が入水したヘキヲに始まる。屈原の霊に食物を供えるため淵に投ずると、途中で河童に横取りされてしまつ。そこで河童の嫌いは笹を餅を巻いて横取りを防いだといふ。楚はやがて屈原の予見の如く、秦の始皇帝により「亡ぼされる。しかし、屈原の徳を慕つ祭事は、千数百年の後にいたるも、連綿として続いている。

※ 筆者註：持ち帰りすべし(笹)は縁起物であるが、笹には縁起物作用がある。

平成17年10月から介護保険施設等の利用料が変わります

この度の介護保険法の改正に伴い、平成17年10月から特別養護老人ホーム・ショートステイの居住費(ショートステイの場合は滞在費)と食費が介護保険の対象から外れ、自己負担いただくことになり、現在ご入所されてます利用者様と交わしております【契約書、契約書別紙】に關しまして内容の変更が発生していることから再契約が必要となりました。(別途お知らせ申し上げます。)

自己負担となる理由

同じ要介護状態の人でも、在宅で生活する方は、サービス利用の1割負担2.1万円のほかに、食費の3.1万円や居住費としてアパート代や光熱水費 5.2万円を負担しており、その総額は全国平均で約10万4,000円になります。

一方で、施設に入って生活している方の負担は、サービス利用の1割負担3万円と食材料費2.6万円の計約5万6,000円です。このように、在宅で生活する方と施設に入って生活している方の費用負担におよそ2倍程度の差が生じているため、この不均衡を是正するものです。

新負担額の目安

介護保険施設(特別養護老人ホーム)

区分		費用の内容	月額(円)
居住費	相部屋(多床室)	光熱水費相当	10,000
食費		食材料費及び調理に係る費用相当	42,000

当施設には従来型個室に該当する居室もごございますが、当面の間は全室多床室扱いとして提供させていただきます。

ショートステイ(短期入所生活介護)

区分		費用の内容	日額(円)
滞在費	相部屋(多床室)	光熱水費相当	320
食費		食材料費及び調理に係る費用相当	1,380

負担額の軽減制度

負担額の段階設定

居住費と食費の負担額は、過重な負担とならないよう課税状況や年金収入の状況に応じて4段階に区分されており、第1段階から第3段階までの方は、下表のように申請により軽減されます。

介護保険施設における段階区分別負担額

【単位:円】(月額概数)

段階区分				居住費	食費	所得区分	上限額
所得区分		利用料負担段階	相部屋(多床室)	所得区分		上限額	
市町村 民 税	世帯課税者		第4段階	10,000	42,000	市町村民税世帯課税者	世帯で37,000円
	世帯 非 課 税 者	合計所得金額と課税年金収入の合計が80万円超	第3段階	10,000	20,000	利用料負担段階第3段階	世帯で24,600円
		合計所得金額と課税年金収入の合計が80万円以下	第2段階	10,000	12,000	利用料負担段階第2段階	世帯で15,000円
		老齢福祉年金受給者	第1段階	0	10,000	市町村民税世帯非課税の老齢福祉年金受給者	世帯で15,000円
	生活保護受給者	生活保護受給者				世帯で15,000円	

高額介護サービス費の支給

1ヶ月の介護サービスの1割負担の合計額が所得に応じた一定の上限額を超えた場合には、超えた分が申請により払い戻されます。

平成12年4月1日以前から特別養護老人ホームに入所されている方で、利用者負担割合が5%以下に軽減されている方は、平成17年10月以降も従来の負担額を上回らないよう軽減されます。

その他に、高齢者夫婦世帯で配偶者が個室に入った場合や、利用料が負担できなく生活保護が必要となる方への負担軽減制度がありますのでご相談下さい。

敬老感謝祭



平成十七年九月十日(土)に敬老感謝祭を開催いたしました。九十歳以上の方五十名、八十八歳の方六名、八十歳の方六名、七十七歳の方一名、七十歳の方一名をご紹介します。節目の年齢ではなかった方も含め皆様にお祝い申し上げます。尚、奥多摩町内介護老人福祉施設四施設中の最高齢男性、女性として、百二歳の男性、百一歳の女性の方には九月十九日の敬老の日に河村文夫奥多摩町長、宇佐美弘奥多摩町社会福祉協議会長におみえいただき、改めて長寿のお祝いをいただきました。ご紹介いたします。末永く健やかに過ごされますよう祈念いたしますとともに、河村町長、宇佐美社協会長へ御礼申し上げます。

今回の敬老感謝祭には慰問演芸として扇和会(写真左上)の皆様にもおこしいいただき、感謝祭に華を添えていただきましたことお礼申し上げます。また、毎年花束をお贈りくださるDTC理美容店様や、敬老感謝祭だけでなく盆踊り大会でも模擬店を行っていただきました地元商店街のターナの会(写真左下)の皆様にもこの場をかりまして御礼申し上げます。

昭和天皇とトドラソアと父

双葉会診療所長 片倉和彦

へえ、と思った。尊敬している人はずいぶんアングラがあつて、父と答えている級友がけっこういたのだ。鉄鋼労働者の町、中学一年の時である。僕は田中正造と書いた。父は父であつて尊敬とは別と考へていた。総務課の仕事から帰ってきてNHK七時のニュースを見て、晩酌をしている父だった。外では飲まない人であつた。父と大人の世界の話をしたことはほとんどなかった。父が六十五歳のころに父の長兄を見舞いに二人で寝台列車北斗星に乗ったときに、はじめて長兄一家との過去の行き違いを知つたといふことだ。

信州の病院に勤めていたときに、世界三つ者会議で発表するために、東京の自宅に六日間宿泊した。そのとき父は出張旅費を浮かせているのだらうから家にながしか置いてゆけ」と書いてよした。年休かつ全額自腹で会議に出る人が世の中にいるとは思わなかつた。

父が職を辞めた後のことは心配だつた。惚けるかなと。それが七十七歳になる今でもけつこつ元気である。六月にも母と一緒に旅行行つてきた。ツアーに参加し、旅行記を書き、デジカメの写真を添えて、ホームページに載せる。そのホームページといふのは、海軍兵学校七十七期生のものだ。そう、父親の元気の根源はこの兵学校生徒で終戦を迎えた仲間とのトラスと山歩きと水墨画とホームページであつたのだ。

たぶん僕もそつだと思つたが、大人が仲間には話しているが子供に話してないといつていばいあると思う。ホームページには父の戦後が書かれていた。水産大学を卒業し、天皇陛下の調査船「葉山丸」の船長となつた。そこでは、陛下がトドラソアの研究をされてた。昭和六十三年一月昭和天皇のご著書「相模湾産トドラソア」には陛下自ら書かれた序文がある。「昭和のはじめから現在までの永い年月にわたつて公務の余暇に、主として相模湾の海域でトドラソア類を採取し、研究を続けてきた」といつ段で始まり、採集船として葉山丸が昭和三十一年まで運行したなどと記されている。

トドラソアとは一般にはワミウシと言われている。雌雄同体で環境によつて雄にも雌にもなる。オスになつたトドラソアの右肩の突起がメスのトドラソアの生殖口あるいは体の好きな場所に差し込まれると次の個体ができてくる、といふような不思議な生物。陛下が採取した貝類は千二百一十種、そのうち百十種が新種であつた由。

あの父が船長で海に落ちた物を拾うためにふんどしで海を泳いだりしたんだ、ということ息子としてはじめて知つた。僕が知つている父は、米國留学の後で普通の総務課社員になつた父だつたから。

僕は、去年から老眼になつた。僕は、去年から畑に夢中になつてゐる。昔、親が畑をやつていたときには、何が面白いのかと思つていたのだが、父と同じくPTA会長にもなつた。

十一月中旬頃からインフルエンザ予防注射を始めていふ予定です。費用は一回につき二千二百円で、接種は一回行えば十分だと思ひます。

注射を希望される方は双葉会診療所、若しくは看護師お問合せ下さい。



右上下 :平成17年7月13日「盆供養法要」
左上 :平成17年8月6日「神庭御神楽慰問」
左下 :平成17年8月17日「スイカ割り」



日常生活 行事活動状況



ご協力有難うございました
平成十七年九月五日より三十日迄の間、鶴見大学短期大学部福祉専攻の学生四名を介護福祉士資格取得のための施設実習として受け入れてまいりました。大学での講義ではなく実際の現場における経験は学生にとつて大きな財産になることと思います。今後の活躍を期待するとともに、ご理解ご協力を頂きました利用者の皆様には感謝申し上げます。



生計困難者に対する利用者負担額軽減措置事業の取り下げについて

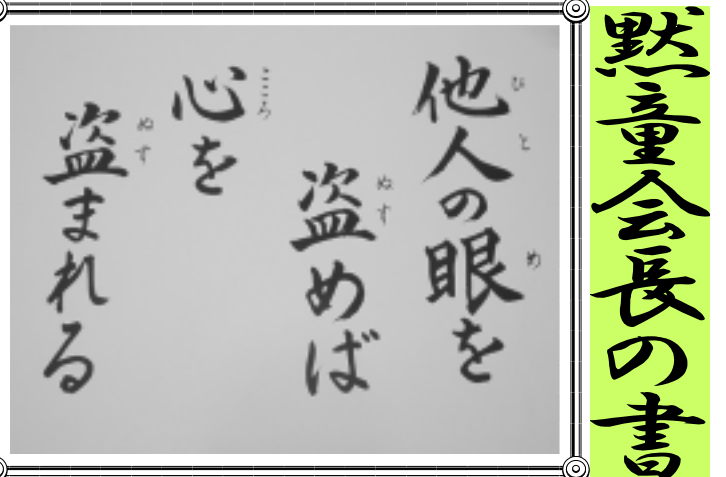
平成17年10月の介護保険制度改正に伴い、平成14年4月より取り組んでまいりました「生計困難者に対する利用者負担額軽減措置事業」を諸般の事情により、やむを得ず平成17年9月末日をもって廃止させて頂くこととなりましたのでご連絡致します。

東京都及び該当する市区町の介護保険者に対しましては、軽減事業取下書の提出等により届出を受理されましたことを併せてご報告させていただきます。

なお、平成17年9月ご利用料分まで減額を適用いたしますので何卒、ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

今後の行事予定 平成17年10月から平成17年12月迄(適宜変更あり)

10月	11月	12月
合同スポーツ大会	紅葉ハイク	忘年会
買物バス	紅葉会	成道会
マス釣り	衣料品訪問展示販売	ゆず湯
湯豆腐会	買物バス	買物バス
保育園・小学校運動会		室内履き販売



編集委員紹介

平成十七年九月十三日に奥多摩老人クラブ連合会の皆様
に敬老慰問としてお
祝い品を頂きました。
大変有難うござ
いました。

写真の掲載に関して
個人が特定できる場合において、利用者の皆様よりご了承をいただいたうえで掲載をさせて頂いております。

広報委員長 村木 事務主任
編集委員長 清水 介護主任
編集委員 青木 栄養士
編集委員 小川 事務主任
編集委員 坂本 介護主任
編集委員 中村 介護主任
編集委員 牧野 介護主任
編集委員 三富 介護主任
(編集委員 五十音順)
上記委員により今後も寿楽荘だよりは定期的に刊行される予定です。ご協力をお願いします。